



**菜ちゃん**(平成15年7月19日生)  
 両親=伊藤忠・聡子さん(江ヶ崎)  
 「歌の大好きな菜ちゃん。  
 いつも楽しく歌っているよ。」

**寿々子ちゃん**(平成16年1月16日生)

両親=椎名則行・きみ枝さん(イ)  
 「お祭り大好きな私。  
 おみこしの前では大はしゃぎ。」



**拓也ちゃん**(平成13年11月15日生)

両親=高橋晴美・真由美さん(櫻井)  
 「お祭り大好きだよ!  
 太鼓たたきは、ぼくぼっちいだよ!」

すこやかちゃんを募集しています

掲載ご希望の方は、秘書広報課広報聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、保健センター、海上保健福祉センター、飯岡保健福祉センター、干潟保健センター、秘書広報課にあります。

山岳信仰とよばれるものがありま  
 す。日本では古くから神霊が住まう  
 特別な場所として山を崇めてきた歴  
 史があります。江戸時代には「講」  
 をつくって参拝するのが一般庶民の  
 間に定着、物見遊山をかねた一大イ  
 ベントとなっていました。代表的な  
 ものに富士山、出羽三山があり、東  
 総地域には今でもこうした講組織が  
 残っています。

さて、関東で人気の一つだったの  
 が大山詣でした。大山山頂(現神奈  
 川県伊勢原市)の石尊大権現は源頼  
 朝が太刀を納め天下泰平を祈願した  
 のが始まりとされています。それが  
 江戸時代、庶民に木太刀を納める風  
 習として広まったといわれています。  
 参詣者はすでに奉納してあるものを  
 持ち帰り神棚にまつりました。

今回のこの巨大な木太刀もその一  
 つ。宝暦十三年(一七六三年)の銘  
 があり、長さは約四メートル、大き  
 な松材がそのまま太刀の形にあつら  
 えられ、表側には石尊神像が銅で施  
 されています。これほど大型のもの  
 は全国的にも例がありません。裏側  
 には旧海上郡、香取郡の村々から、  
 願主として講中の世話人、太刀の寄  
 付者、参詣人の名がそれぞれ記され、  
 その数は二百名を超えます。



紙上展示室 — 旭モノ語り — 第三回

大山石尊奉納木太刀



大山石尊奉納木太刀

奉納太刀は一〜二メートルのもの  
 が一般的ですが、参詣の流行ととも  
 に大きさや形が競われるようになり  
 ました。これは岩井の滝山として親  
 しまれる龍福寺の本堂内部に掲げら  
 れていたもの。現在は大原幽学記念  
 館の郷土展示室で公開しています。  
 住職の土川峰仙氏によれば、実際に  
 は代わりの小さなものを奉納用を持  
 参し、こちらは持つていかなかった  
 ということです。当時の人々の篤い  
 信仰心と、村を越えたネットワーク  
 には圧倒されるばかりです。くわし  
 くは、『海上町史研究』十六号(昭和  
 五十六年)を参照ください。  
 龍福寺一帯は県指定天然記念物の  
 森で、自然公園、キャンプ場もあつ  
 て、歴史と自然の宝庫でもあります。  
 (大原幽学記念館 鈴木映里子)

暮らしのカレンダー

- 8日(土) 中央小運動会
- 9日(日) 地区体育祭(干潟(旭)・矢指・共和・豊畑)
- 10日(月) 体育の日・地区体育祭(中央)
- 29日(土) 旭市合併記念式典(10:00~ 東総文化会館)  
あさひのまつり(13:00~ 東総文化会館)
- 30日(日) 秋のゴミゼロ運動(8:00~9:00 市内一斉)

編集後記

合併して3か月。新しくなつ  
 た住所を書くのにも、慣れて  
 きました。今回、学校給食の  
 取材でセンターを回りました。  
 各地域でそれぞれの特色を目  
 にしました。印象に残ったの  
 は第三給食センター(干潟)。  
 弁当箱の給食でした。説明を  
 聞くとなるほどと思いました。  
 給食が始まった時、主食は毎  
 日ご飯ということで、弁当箱  
 方式になったそうです。これ  
 まで、給食は教室で配せんす  
 るものとは思い思っていました。  
 新しいまちは発見がいっ  
 ぱい。楽しいです。(K)